

学校名 垂水市立松ヶ崎小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>学校周辺の環境整備を中心に、地域の特性を生かした活動に取り組んでおり、ふるさと垂水を愛する児童の育成を目指している。</p> <p>また、児童、学校職員、保護者、地域が一体となり、年間を通して計画的に取り組んでいる。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等 (1) 活動の動機・頻度	<p>活動の動機：学校教育目標「ふるさと垂水を愛し、確かな学力をもち、心豊かでたくましく生き抜く松ヶ崎小学校の子供たちの育成」のために、また、花と緑につつまれた心豊かな学校づくり（グリーンタイム）や5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）、地域の特産のビワの栽培活動などの郷土の素材を生かした特色ある体験活動を積極的に推進している。</p> <p>極小規模複式校のため、学年縦割りで活動することが多いことから、互いに協力する心情を養うこともねらいとしている。</p> <p>学校や学校近くの鹿児島湾護岸周辺の清掃活動等での奉仕活動を通して、みんなのために何かできることを考える力を育てるために、以下の活動を推進している。</p> <p>本校は創立 156 周年を迎えており、グリーンタイムは十数年以上続いている活動である。</p>
① 活動を始めた動機及び開始年月	
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<p>I グリーンタイム（緑化活動）</p> <p>II 松ヶ崎小学校クリーン作戦（児童会主催）</p> <p>III 牛根横断歩道橋点検隊（国土交通省と連携） 【歩道橋清掃・花壇の花植え（国道沿い）】</p> <p>IV P T A 愛校作業</p> <p>V 田植え体験活動</p> <p>VI リサイクル活動（空きびん回収）</p> <p>VII ビワの栽培活動</p> <p>VIII 生産者の方々との野菜栽培活動</p> <p>IX 椎茸の栽培活動</p>
③ 月間又は年間活動回数	<p>I グリーンタイム</p> <p>・ロング月 1 単位時間</p> <p>・ショート毎月 1・3 水曜日 15 分</p> <p>II 松ヶ崎小学校クリーン作戦（年 2 回程度）</p> <p>III 歩道橋清掃（年 2 回）</p> <p>IV P T A 愛校作業（年 2 回）</p> <p>V 田植え体験活動（年 5 回）</p> <p>VI リサイクル活動（空きびん回収 年 1 回）</p> <p>VII ビワの栽培活動（年 8 回）</p> <p>VIII 生産者の方々との野菜栽培活動（年 2 回）</p> <p>IX 椎茸の栽培活動（年 3 回）</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	<p>I 学校園・学級園</p> <p>II 道の駅たるみずゆったり館から大中野バス停付近までの国道 220 号線歩道及び鹿児島湾の護岸道路</p> <p>III 国道 220 号線横断歩道橋周辺及び国道沿い花壇</p> <p>IV 地区公民館周辺・学校運動場・鹿児島湾護岸周辺</p> <p>V 麓地区、埋没鳥居近くの田</p> <p>VI 松ヶ崎地区（麓地区・辺田地区）</p> <p>VII 学校敷地内のビワ園</p> <p>VIII 学校敷地内の農園</p> <p>IX 学校敷地内の椎茸原木設置場所</p>
⑤ 活動 1 回当たりの平均参加者数	<p>14 名</p> <p>IVは 40 名前後，VIは 20 名前後</p>
⑥ 活動 1 回当たりの平均時間	45 分程度
⑦ 収集ごみの処分	<p>除草した草や剪定枝等，児童が集めたごみは，市に回収してもらっている。</p> <p>空きびんは，業者に回収してもらっている。</p>
(2) 活動の独創性活動の特徴	<p>花と緑につつまれた心豊かな学校を目指す緑化活動では，緑化計画を立て教児一体で取り組んでいる。グリーントイムでは，学級園の世話以外にも，古い土をふるいにかけて再生土を作ったり，黒ポットに土を入れて定植の準備をしたりしている。また，子ども 110 番の家へ，日頃の見守りのお礼として持って行く花を育てる活動等にも取り組んでいる。</p>
(3) 地域への貢献度	<p>松ヶ崎クリーン作戦は校区をきれいにしようと児童会で話し合って始めた地域の清掃活動である。道の駅裏の鹿児島湾護岸道路，国道沿いのごみ拾いを中心に実施している。また，県下一周駅伝の時期でもあり，出場する選手の方々が気持ちよく垂水を走ることができるようにと清掃活動がんばっている。</p> <p>国土交通省と連携し牛根横断歩道橋点検隊にも任命されており，定期的に歩道橋の清掃や火山灰の除去を行っている。また，歩道橋近くの花壇の世話も行っており，地域の方や観光客から，「花がきれいですね。」と声を掛けていただくこともある。</p>
① 地域の環境美化への貢献	
② 地域住民との協力活動	<p>P T A愛校作業では毎回地域の方々の協力をもらい学校，地域公民館周辺，国道沿い，鹿児島湾護岸道路の除草活動やごみ拾い，樹木の剪定等を実施している。</p>
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	<p>児童が一生懸命活動する様子を見て声を掛けてくださる地域の方々も多い。</p> <p>P T A準会員の方や地域のビワ栽培に詳しい方をゲストティーチャーとしてお招きし，指導や支援をもらっている。松ヶ崎地区ではビワの栽培活動が盛んで地域の中では下草を刈り取ったり，果実袋をかけたりと互いに協力しながらの生産活動を進めている姿を見かける。児童も，総合的な学習の時間や創意の時間に，地域の特産物の学習に取り組んでいる。地域の指導者からビワジャム作りへの支援等もしていただいている。</p>

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<p>児童数8名という少人数で、ボランティア活動や緑化活動を十数年続けてきている。教育課程では、学校や地域への環境に関する活動を通して、地域への環境保全活動へと視野を広げられるように、教科・領域の中で発達段階に応じた環境教育の全体計画を設定している。</p> <p>リサイクル活動（空きびん回収）では、回収したびんについて、どこへ回収され、どのような形でリサイクルされていくのかについて、高学年の総合的な学習の時間「松ヶ崎を発信しよう（環境を守ろう）」の学習にもつなげている。</p>
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<p>朝の始業前には、上学年を中心に自分たちで活動場所を決めて、1年生から6年生まで全員が時間いっぱい清掃活動に取り組む姿、上学年が下学年に掃除の方法を教えている姿が見られ、協力して自主的にボランティア活動に取り組む活動が伝統として何年も続いている。</p> <p>根気強く栽培活動や清掃活動を行い、「きれいになって、気持ちがよい。」「美しい花が咲いてうれしい。」等、成就感や満足感を味わう姿が多く見られる。</p>
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<p>ゴミの分別・節電・節水を実施。</p>
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)	<p>特にありません。</p>
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<p>毎月第1・3水曜日の朝の活動をショートグリーンタイムとしている。</p> <p>また、年間を通じた緑化活動及び栽培活動においては児童会活動、創意の時間、総合的な学習の時間（ふるさと垂水の時間）に一単位時間の活動が行えるように計画を立てている。</p>
3 その他特記事項	

1 松ヶ崎クリーン作戦 (県下一周駅伝と同日)

自分たちが住む校区をきれいにしようと、活動のめあてを立てて実行する活動である。道の駅周辺から鹿児島湾沿いの護岸道路、国道220号線沿いのゴミ拾いを中心に活動を行っている。特に護岸道路は、よく釣り客が訪れているため釣り具等プラスチックゴミが多い。「これを魚や鳥が食べたら大変だ。」ということに気付き、海、護岸をきれいにする意義について活動を通して理解を深めることができている。



道の駅周辺のゴミ拾い



護岸道路のゴミ拾い



活動の振り返り

2 鹿児島湾沿いの護岸や国道沿いの清掃活動

朝のボランティア活動や清掃活動で、運動場及び国道、地区公民館周辺の護岸の清掃を実施している。国道については、通学路も兼ねているので、定期的に清掃をしている。護岸の清掃については、子供たちや職員だけでは作業が難しいこともあるので、地域の方々にPTA愛校作業等で協力をいただいている。

本校は少人数の学校だが、みんなで協力して清掃やボランティア活動を推進している。異年齢集団での活動で互いの思いやりや助け合いの気持ちを育み、達成感や成就感を味わうことで次への活動につなげていくことを大切にしている。

上学年を中心に上校庭に、「跡付け」と称して箒の目をつけている。上学年から下学年にやり方を教え、下学年は上学年の様子をしっかりと見て、確認しながらやり方を覚えていく。作業中、子供たちはおしゃべりをすることなく、集中して取り組んでいる。無言のうちに、「協力して、学校をきれいにしていこう。」という気持ちをみんなで共有することができている。この朝の活動が、心地よい一日のスタートにつながっている。



国道沿いの清掃



裏庭の清掃

3 PTA愛校作業

PTA、PTA準会員(元PTA会員で、子供が卒業した後もPTA活動を手伝って下さっている方々)、地域の方々の協力を得て、毎年2回愛校作業を実施している。広い下校庭を中心に子供たちは、前半は草取り、後半は大人が刈った草を集める作業を行っている。2時間ほどで作業は終わり、整った環境の中で学習や運動ができている。



下校庭の草取りの様子



草集めの様子



草運びの様子



下校庭の草払いの様子



護岸土手の草払いの様子

4 P T A空きびん回収

P T A 空きびん回収を年 1 回実施している。校区内 2 箇所に分かれて、道路沿いに出ているびんを保護者と子供たちが協力して回収している。多くのびんを回収したり、びんの回収業者の方から集めたびんがどのように再利用されているかを聞いたりすることで、リサイクルの大切さや意義について実体験を通して学ぶことができる。



びんを集める様子

5 「みんなで学ぼう P T A 体験学習」

～体験活動を通して、豊かな心を育む P T A 活動の実践～

松ヶ崎小学校は P 戸数 6 という少ない世帯数であるが、子供たちに多くの体験活動をさせ、豊かな心を育みたいというねらいで、P T A 研修部が中心となって年間を通して餅米作りに取り組んでいる。田植え、草取り、稲刈り、はざかけ、脱穀と全ての作業を体験することを通して、「食べ物を大切にする心」、「働くことの大切さ」、「収穫の喜び」、「生産者への感謝」等の気持ちを育てている活動である。収穫した餅米は、1 2 月のもちつき大会で子供たちはもちろん、地域の方々にもふるまわれる。



田植え



稲刈り



はざかけ

6 ビワの栽培

本校では、校庭にあるビワ畑で年間を通してビワの栽培を行っている。ビワは、松ヶ崎地区の特産品として、多く栽培されている。

子供たちは、収穫して食すだけではなく、追肥や剪定、芽かき、摘果、袋掛け（霜対策用と防護用の2回）、畑の環境整備等の作業を、地域のゲストティーチャーの方に教えていただきながら全児童で行っている。

ビワ栽培を通して、松ヶ崎地区のよさ、収穫の喜びや自然環境への感謝の気持ちを実感することができている。また、ビワの枯れ葉は肥料になることを教えていただくことで、剪定で落とした葉を根元に集める等、資源を有効に活用するという環境保全の仕組みについても学ぶことができている。

地域の指導者や保護者（家庭教育学級）の協力の下、収穫したビワはビワジャムに加工する体験もしている。



追肥



花摘み



剪定



収穫



ビワジャム作り



7 花いっぱい栽培活動

本校では、朝のボランティア活動、グリーンタイムショート（毎月第1・3水曜日朝の15分間）、グリーンタイムロング（毎月1回、45分間）を中心に、栽培活動に取り組んでいる。

全児童、職員で学級園の植付けや草取り、水やりはもちろん、土作りや黒ポット作り、花摘みや種取りなどの活動にも取り組むことで、植物を大切にすることや生育環境を整えること、みんなで協力して働くことなどを、体験を通して学ぶことができている。



定植



草取り



土作り

8 生産者の方々との交流

年に2回、地元の農家の方々（「たるみず楽農百笑クラブ」）の協力の下、野菜の植付をしている。苗も提供していただき、専門の方から植え方や世話の仕方等を教えていただいたり、一緒に活動したりする中で、農作物の知識と食に関する関心をもつと共に、食物生産に関わる人々への感謝の心をもつよい機会となっている。



冬野菜の植付

9 5 S活動への取組

環境美化・環境保全の教育活動において本校では令和元年度から5 S活動という取組を展開している。5 S活動とは、整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとった言葉で児童及び職員全員で取り組んでいる。自分の身近なところから家庭・学校・地域への環境美化活動へと視野を広げられるように今後も5 S活動を進めていきたい。



5 S 活動掲示物



全校朝会 校長講話

10 歩道橋清掃・歩道橋点検

松ヶ崎小学校から国道をつなぐ牛根麓の歩道橋の清掃をしている。子供たちは、全員、毎日この歩道橋を使って登下校している。また、大隅河川国道事務所から歩道橋点検隊にも任命されていて、修繕箇所等があるときは職員に連絡して、事務所に報告している。（歩道橋清掃は年2回）



歩道橋の清掃

11 国道沿い（歩道橋入口側）の花植え

平成28年度の国土交通省と連携した横断歩道橋点検隊の任命式の際に作られた花壇に、毎年春と秋、花の苗を植えている。夏・秋にはマリーゴールド、サルビア、マツバボタン等、春にはリビングストーンデージー、ポピー、パンジー等が咲き誇り、児童や職員だけでなく、地域の方や近くを訪れる観光客を楽しませてくれる。

子供たちは、毎日の登下校時に花の成長を観察し、ボランティア活動の時間やグリーンタイムに草取りや水やり等の世話をしている。



花園の土起こし



定植



草取り